

平成 28 年熊本地震に係る
名古屋市の対応等について

(平成 28 年 6 月 10 日現在)

名古屋市防災会議

平成 28 年熊本地震に係る被害状況等について

1 地震の概要

(1) 震度 6 強以上を観測した地震（気象庁発表 / 6 月 9 日 11 時 00 分現在）

発生時刻	震央地名	マグニ チュード	最大震度
4 月 14 日 21 時 26 分	熊本県熊本地方	6.5	7 益城町 <small>ましきまち</small>
4 月 15 日 00 時 03 分	熊本県熊本地方	6.4	6 強 宇城市 <small>うきし</small>
4 月 16 日 01 時 25 分	熊本県熊本地方	7.3	7 益城町・西原村 <small>ましきまち にしはらむら</small>
4 月 16 日 03 時 55 分	熊本県阿蘇地方	5.8	6 強 産山村 <small>うぶやまむら</small>

※ 地震回数 1,696 回（4 月 14 日 21 時 26 分以降～6 月 9 日 11 時 00 分まで）

(2) 発震機構（メカニズム） 横ずれ断層型（布田川・日奈久断層など）ふたがわ ひなぐ

2 主な被害状況

(1) 人的被害（消防庁発表 / 6 月 7 日 14 時 00 分現在）

区 分	死 者	負傷者	
		重傷	軽傷
福岡県		1	17
佐賀県		4	9
熊本県	49	333	1,263
大分県		4	24
宮崎県		3	5
合 計	49	345	1,318

※ 上記死者のほか、震災後における災害による負傷の悪化又は身体的負担による疾病により死亡したと思われる死者数 20 名（死者合計で 69 名）

※ 上記負傷者のほか、分類未確定分の負傷者が、140 名

(2) 建物被害（消防庁発表 / 6 月 7 日 14 時 00 分現在）

区 分	住家被害			非住家被害	
	全壊	半壊	一部破損	公共建物	その他
山口県			3		
福岡県		1	230		1
佐賀県			1		2
長崎県			1		
熊本県	7,149	21,083	98,819	243	991
大分県	2	95	2,957		20
宮崎県		2	20		
合 計	7,151	21,181	102,031	243	1,014

(3) 避難状況（消防庁発表／6月6日13時30分現在）

避難所数：152箇所	（最大1,145箇所 / 4月17日9時30分）
避難者数：7,045名	（最大194,216名 / 4月17日16時00分）

(4) 道路関係（国土交通省発表／6月7日11時00分現在）

高速道路：全線開通（5月9日～）	（最大10路線 / 4月16日2時14分）
一般道路：通行止め33区間	（最大139区間 / 4月17日13時00分）

(5) 鉄道関係（国土交通省発表／6月7日11時00分現在）

新幹線：運転再開（4月27日～）	
在来線：2路線運休	（最大31路線 / 4月16日8時30分）

(6) 電力関係（経済産業省発表／4月28日6時00分現在）

九州電力・停電解消	（最大191,300戸 / 4月16日7時00分）
※ 変圧器や引込線の断線により送電が困難となっている地域が一部あり	

(7) ガス関係（^{さいぶ}西部ガス発表／4月30日13時40分現在）

復旧済戸数：100,884戸	（復旧率100%）
※ 家屋倒壊、その他都合により供給を再開できていない場合あり	

(8) 水道関係（厚生労働省発表／5月30日17時00分現在）

断水戸数：75戸（熊本県）	（最大断水戸数：445,857戸）
---------------	-------------------

(9) 通信関係（総務省発表／6月7日6時00分現在）

固定電話：全面復旧	（NTT西日本など最大300回線不通）
携帯電話等：1基地局停波	（最大576局停波 / 4月16日10時20分）

3 主な災害救助派遣状況

(1) 自衛隊（防衛省発表／5月30日・最終報）

延べ約814,200名、航空機：延べ2,618機、艦艇：延べ300隻

(2) 緊急消防援助隊（消防庁発表／5月6日7時30分現在）

- 出動機関：4月14日～4月27日 / 計14日間
- 出動部隊総数：20都府県 約1,400隊 / 約5,000名

- 延べ活動部隊数：約 4,300 隊／約 16,000 名
- 最大派遣時部隊数：19 都府県 約 570 隊（ヘリ 18 機含む）／約 2,000 名

(3) 警察災害派遣隊（警察庁発表／4 月 30 日 8 時 00 分現在）

432 名、ヘリ 7 機（救出救助活動、生活安全活動、交通警察活動など）

(4) 災害派遣医療チーム（厚生労働省発表／5 月 30 日 17 時 00 分現在）

DMA T から JMA T（日本医師会災害医療チーム）等への引継ぎが進み、DMA T は縮小し、医療チームの派遣調整機能を DMA T 都道府県調整本部から熊本県医療救護調整本部に統合。熊本県からの要請により、ロジスティックチームは、県医療救護調整本部のサポートを実施。

※ DMA T 以外の医療チーム：44 チーム（全国知事会、日本医師会、日本赤十字社など）

4 本市の対応状況等

<情報収集等>

被災地状況調査

派遣体制：延べ 23 名

派遣期間：4 月 20 日(水)～

活動内容：被災地における支援活動に係る情報収集、現地との調整・協議等

<現地支援活動>

(1) 避難所運営支援

派遣体制：(第 1 次隊)：43 名【4 月 26 日(火)～5 月 3 日(火)】

(第 2 次隊)：39 名【5 月 2 日(月)～5 月 10 日(火)】

(第 3 次隊)：39 名【5 月 9 日(月)～5 月 19 日(木)】

派遣場所：熊本市中央区内の避難所

活動内容：避難所における運営支援

(2) 応急危険度判定士の派遣

派遣体制：(第 1 次隊)：6 名【4 月 22 日(金)～4 月 26 日(火)】

(第 2 次隊)：6 名【4 月 25 日(月)～4 月 29 日(金)】

派遣場所：熊本市内

活動内容：被災した建築物について、倒壊の危険性や建築物の部分的な落下、転倒等の危険性の判定を実施

(3) 建物被害認定調査

派遣体制：(第1次隊)：5名【5月2日(月)～5月8日(日)】
：1名【5月2日(月)～5月14日(土)】
(第2次隊)：2名【5月7日(土)～5月14日(土)】
：9名【5月7日(土)～5月20日(金)】
：3名【5月13日(金)～5月20日(金)】
(第3次隊)：5名【5月19日(木)～5月25日(水)】
：1名【5月19日(木)～6月1日(水)】
(第4次隊)：5名【5月24日(火)～6月1日(水)】
(第5次隊)：4名【6月6日(月)～6月15日(水)】
(第6次隊)：4名【6月15日(水)～6月23日(木)】
(第7次隊)：4名【6月23日(木)～7月1日(金)】

活動内容：建物の被害認定調査

(4) 災害ごみ収集活動

派遣体制：清掃運転士4名、技士9名、管理・整備5名
派遣車両：大型プレス車3両、中型ダンプ車1両、事務連絡車2両
派遣期間：5月6日(金)～6月3日(金)
派遣場所：熊本市内
活動内容：被災地における災害ごみの収集・運搬活動
※ 第1次隊から第4次隊まで、各隊1週間で計4週間を予定

(5) り災証明書発行業務

派遣体制：(第1次隊)：3名【5月2日(月)～5月10日(火)】
(第2次隊)：3名【5月9日(月)～5月19日(木)】
活動内容：熊本市におけるり災証明書の発行業務の支援

(6) 応急仮設住宅の建設

派遣体制：3名(建築、機械、電気の各分野の担当者)
派遣期間：5月14日(土)～5月27日(金)
派遣場所：熊本県庁 応急仮設住宅専門チーム(土木部住宅課)

(7) 被災宅地危険度判定

派遣体制：3名(1チーム)
派遣期間：5月21日(土)～5月25日(水)
活動内容：地震により被災した宅地の擁壁・宅盤・のり面等の被害状況について、危険度判定を実施

< 救援物資搬送 >

(1) 災害救援物資の提供

派遣体制：2名（その他、日本通運が手配したトラックの運転手3名が同行）

派遣期間：4月17日（日）～4月18日（月）

派遣車両：10tトラック3両

支援物資：アルファ化米：30,000食 乾パン：17,700食

紙おむつ：（大人用）10,200枚、（子ども用）24,600枚

生理用品：8,400枚 給水用ポリ容器：2,850個

活動内容：熊本市内各集配拠点へ支援物資を搬送

(2) 災害用トイレの提供

派遣体制：2名

派遣期間：4月21日（木）

提供物資：災害用トイレ（簡易パック式）10万回分（1,000箱）

< 健康相談・医療支援等 >

(1) 被災者の健康相談等

派遣体制：保健師2名、連絡調整員1名（4～5日を目途に交替）

※ 延べ人数（予定）保健師23名、連絡調整員10名

派遣期間：4月19日（火）～5月30日（月）

派遣場所：熊本市内

活動内容：被災者の健康相談・健康チェック等

(2) 被災者の精神的ケア（DPAT【災害派遣精神医療チーム】の派遣）

派遣体制：（第1次隊）：【4月22日（金）～4月28日（木）】

4名（精神保健福祉センター）

（精神科医、保健師、精神保健福祉相談員、事務職員）

（第2次隊）：【5月17日（火）～5月23日（月）】

4名（名古屋市立大学病院）

（精神科医、看護師、薬剤師、事務職員）

派遣場所：熊本県阿蘇郡西原村等

(3) 被災者の医療支援

派遣体制：東部医療センターのDMAT（災害派遣医療チーム）

医師2名、看護師2名、薬剤師1名

派遣期間：4月18日（月）～21日（木）

派遣場所：熊本赤十字病院

活動内容：熊本赤十字病院を拠点に救急医療を実施

<健康相談・医療支援等>

(4) 避難所、救護所等における医療支援

派遣体制：5名（名古屋市立大学病院）

（医師1名 看護師2名 薬剤師1名 事務職員1名）

派遣期間：5月4日（水）～5月7日（土）

派遣場所：熊本県益城町

活動内容：避難所、救護所等における医療支援

<上下水道関係>

(1) 応急給水活動

派遣体制：（第1次隊）：11名【4月16日（土）～4月25日（月）】

（第2次隊）：11名【4月23日（土）～5月2日（月）】

派遣車両：応急給水タンク車（4m³）2両、緊急自動車3両

支援物資：災害用備蓄飲料水（38箱）ほか

活動内容：熊本市内における応急給水活動

(2) 下水管きよの被害調査支援活動

派遣体制：（第1次隊）：13名【4月18日（月）～4月27日（水）】

（第2次隊）：10名【4月25日（月）～5月1日（日）】

：3名【4月25日（月）～5月4日（水）】

（第3次隊）：2名【5月2日（月）～5月11日（水）】

（第4次隊）：1名【5月9日（月）～5月12日（火）】

：4名【5月9日（月）～5月18日（水）】

（第5次隊）：1名【5月14日（土）～5月27日（金）】

：3名【5月16日（月）～5月23日（月）】

：1名【5月16日（月）～5月27日（金）】

派遣車両：4両（うち、緊急自動車2両）

活動内容：熊本市内における下水管きよ被害の調査支援

(3) 水道の漏水調査

派遣体制：2名

派遣車両：緊急自動車1両

派遣期間：4月21日（木）～5月2日（月）

活動内容：熊本市内における漏水調査

<上下水道関係>

(4) 水道の応急復旧活動

派遣体制：(第1次隊)：4名【4月27日(水)～5月6日(金)】

(第2次隊)：5名【4月30日(土)～5月9日(月)】

(第3次隊)：4名【5月4日(水)～5月13日(金)】

(第4次隊)：5名【5月7日(土)～5月13日(金)】

派遣車両：緊急自動車2両

活動内容：熊本市内における漏水調査及び応急復旧

<義援金等>

(1) 義援金の受付

受付名称：平成28年熊本地震義援金

受付期間：平成28年4月18日(月)～平成28年6月30日(木)まで

受付場所：各区役所、各区役所支所、区社会福祉協議会

(2) 名古屋市による災害見舞金の贈呈

贈呈先：熊本県

贈呈金額：100万円(4月28日(木)、熊本県東京事務所にて目録を贈呈)

(3) 名古屋市職員有志による街頭募金活動

実施日：4月23日(土)、4月24日(日)

募金額：1,602,371円

※4月25日(月)熊本市へ送金

<住宅関係>

市営住宅及び名古屋市住宅供給公社賃貸住宅の提供

入居期間：6ヶ月以内(当初許可日から1年間を限度として更新可)

使用料：無償

受付住宅：市営住宅50戸、名古屋市住宅供給公社賃貸住宅4戸

受付日時：4月22日(金)10時00分～

<教育関係>

(1) 学校への教員派遣

派遣体制：(第1次隊)：1名【5月21日(土)～5月28日(土)】

(第2次隊)：1名【5月28日(土)～6月4日(土)】

(第3次隊)：1名【6月4日(土)～6月11日(土)】

(第4次隊)：1名【6月11日(土)～6月18日(土)】

派遣場所：熊本市立西里小学校

活動内容：特別支援学級担当教員の指導支援

(2) スクールカウンセラーの派遣

派遣体制：延べ9名（なごや子ども応援委員会スクールカウンセラー）

派遣期間：5月23日(月)～7月22日(金)

派遣場所：熊本市立の小・中学校

活動内容：児童・生徒の心のケア

(3) 児童へのメンタルケア及び日常支援

派遣体制：心理治療士1名

派遣期間：5月21日(土)～5月24日(火)

派遣場所：キリスト教児童福祉会 こどもL.E.Cセンター

活動内容：児童へのメンタルケア、日常生活の支援等

<その他>

受入被災者への支援

生活福祉資金の貸付など各種支援について市ウェブサイト等において案内

【本市の派遣職員数】

6月10日(金) 現在6名 (※ 5月9日(月) 最大141名)	累計 延べ409名
-------------------------------------	-----------